

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成28年2月18日(2016.2.18)

【公表番号】特表2015-506922(P2015-506922A)

【公表日】平成27年3月5日(2015.3.5)

【年通号数】公開・登録公報2015-015

【出願番号】特願2014-547635(P2014-547635)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/23	(2006.01)
A 6 1 K	9/107	(2006.01)
A 6 1 K	9/127	(2006.01)
A 6 1 P	27/04	(2006.01)
A 6 1 K	47/34	(2006.01)
A 6 1 K	47/10	(2006.01)
A 6 1 K	47/32	(2006.01)
A 6 1 K	47/38	(2006.01)
A 6 1 K	47/36	(2006.01)
A 6 1 P	27/02	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/231	(2006.01)
A 6 1 K	31/232	(2006.01)
C 0 7 C	67/14	(2006.01)
C 0 7 C	69/24	(2006.01)
C 0 7 C	69/58	(2006.01)
C 0 7 C	69/587	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	31/23
A 6 1 K	9/107
A 6 1 K	9/127
A 6 1 P	27/04
A 6 1 K	47/34
A 6 1 K	47/10
A 6 1 K	47/32
A 6 1 K	47/38
A 6 1 K	47/36
A 6 1 P	27/02
A 6 1 K	45/00
A 6 1 K	31/231
A 6 1 K	31/232
C 0 7 C	67/14
C 0 7 C	69/24
C 0 7 C	69/58
C 0 7 C	69/587

【誤訳訂正書】

【提出日】平成27年12月18日(2015.12.18)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0008

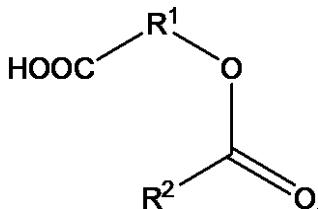
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 0 8】

1. 式 (I) の化合物であって、

【化1】



(I)

式中、

R<sup>1</sup>が、直鎖もしくは分岐鎖のC<sub>9</sub> - C<sub>33</sub>アルキルまたは1つから4つの二重結合を有する直鎖もしくは分岐鎖のC<sub>9</sub> - C<sub>33</sub>アルケニルであり、

R<sup>2</sup>が、直鎖もしくは分岐鎖のC<sub>9</sub> - C<sub>19</sub>アルキルまたは1つから4つの二重結合を有する直鎖もしくは分岐鎖のC<sub>9</sub> - C<sub>19</sub>アルケニルである、化合物と、

眼科学的に許容される担体と、を含む、眼科用製剤。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 0

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 1 0】

3. R<sup>2</sup>が、直鎖もしくは分岐鎖のC<sub>17</sub>アルキルまたは1つまたは2つの二重結合を有する直鎖もしくは分岐鎖のC<sub>17</sub>アルケニルである、項目1または2に記載の眼科用製剤。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 3 3

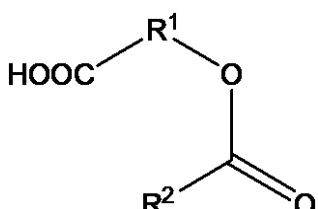
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 3 3】

本発明は、式 (I) の化合物であって、

【化18】



(I)

式中、

R<sup>1</sup>が、直鎖もしくは分岐鎖のC<sub>9</sub> - C<sub>33</sub>アルキルまたは1つから4つの二重結合を有する直鎖もしくは分岐鎖のC<sub>9</sub> - C<sub>33</sub>アルケニルであり、

R<sup>2</sup>が、直鎖もしくは分岐鎖のC<sub>9</sub> - C<sub>19</sub>アルキルまたは1つから4つの二重結合を有する直鎖もしくは分岐鎖のC<sub>9</sub> - C<sub>19</sub>アルケニルである、化合物と、

眼科学的に許容される担体と、を含む、眼科用製剤を提供する。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 4 0

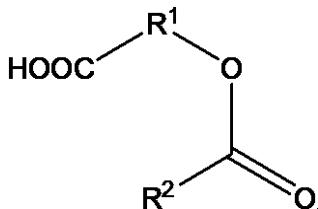
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0040】

本発明の眼科用製剤は、式(Ⅰ)の化合物であって、

【化19】



(Ⅰ)

式中、

R<sup>1</sup>が、直鎖もしくは分岐鎖のC<sub>9</sub> - C<sub>33</sub>アルキルまたは1つから4つの二重結合を有する直鎖もしくは分岐鎖のC<sub>9</sub> - C<sub>33</sub>アルケニルであり、

R<sup>2</sup>が、直鎖もしくは分岐鎖のC<sub>9</sub> - C<sub>19</sub>アルキルまたは1つから4つの二重結合を有する直鎖もしくは分岐鎖のC<sub>9</sub> - C<sub>19</sub>アルケニルである、化合物と、

眼科学的に許容される担体と、を含む。

【誤訳訂正5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0042

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0042】

一部の実施形態において、R<sup>1</sup>は、直鎖もしくは分岐鎖のC<sub>9</sub> - C<sub>33</sub>アルカンジイルであり、つまり、9から33個の炭素を含む直鎖もしくは分岐鎖の飽和炭化水素基である。一部の実施形態において、R<sup>1</sup>は、直鎖のC<sub>9</sub> - C<sub>33</sub>アルカンジイルである。一部の実施形態において、R<sup>1</sup>は、1から4つの二重結合を有する直鎖もしくは分岐鎖のC<sub>9</sub> - C<sub>33</sub>アルケンジイルであり、つまり、9から33個の炭素を含む直鎖もしくは分岐鎖の炭化水素基であり、1つ、2つ、3つ、または4つの二重結合を有し、三重結合を有さない。一部の実施形態において、R<sup>1</sup>は、1から4つの二重結合を有する直鎖のC<sub>9</sub> - C<sub>33</sub>アルケンジイルである。

【誤訳訂正6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0043

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0043】

一部の実施形態において、R<sup>1</sup>は、直鎖もしくは分岐鎖のC<sub>9</sub> - C<sub>17</sub>アルキルまたは1つ、2つ、または3つの二重結合を有する直鎖もしくは分岐鎖のC<sub>9</sub> - C<sub>17</sub>アルケニルである。例えば、一部の実施形態において、R<sup>1</sup>は、直鎖もしくは分岐鎖のC<sub>9</sub>、C<sub>10</sub>、C<sub>11</sub>、C<sub>12</sub>、C<sub>13</sub>、C<sub>14</sub>、C<sub>15</sub>、C<sub>16</sub>、もしくはC<sub>17</sub>アルキル、または1つ、2つ、または3つの二重結合を有する直鎖もしくは分岐鎖のC<sub>9</sub>、C<sub>10</sub>、C<sub>11</sub>、C<sub>12</sub>、C<sub>13</sub>、C<sub>14</sub>、C<sub>15</sub>、C<sub>16</sub>、もしくはC<sub>17</sub>アルケニルである。

【誤訳訂正7】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0045

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0045】

本発明の一実施形態において、R<sup>2</sup>は、直鎖もしくは分岐鎖のC<sub>16</sub> - C<sub>19</sub>アルキルまたは1つ、2つ、3つ、または4つの二重結合を有する直鎖もしくは分岐鎖のC<sub>16</sub> - C<sub>19</sub>アルケニルである。例えば、一部の実施形態において、R<sup>2</sup>は、直鎖もしくは分岐鎖のC<sub>16</sub>、C<sub>17</sub>、C<sub>18</sub>、もしくはC<sub>19</sub>アルキル、または1つ、2つ、または3つの二重結合を有する直鎖もしくは分岐鎖のC<sub>16</sub>、C<sub>17</sub>、C<sub>18</sub>、もしくはC<sub>19</sub>アルケニルである。

【誤訳訂正8】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0046

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0046】

本発明の一実施形態において、R<sup>2</sup>は、直鎖もしくは分岐鎖のC<sub>17</sub>アルキルまたは1つまたは2つの二重結合を有する直鎖もしくは分岐鎖のC<sub>17</sub>アルケニルである。

【誤訳訂正9】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0087

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0087】

出発物質に関する上の式において、R<sup>a</sup>は、直鎖もしくは分岐鎖のC<sub>9</sub> - C<sub>33</sub>アルキルまたは1つから4つの二重結合を有する直鎖もしくは分岐鎖のC<sub>9</sub> - C<sub>33</sub>アルケニルであり、R<sup>b</sup>は、直鎖もしくは分岐鎖のC<sub>9</sub> - C<sub>19</sub>アルキルまたは1つから4つの二重結合を有する直鎖もしくは分岐鎖のC<sub>9</sub> - C<sub>19</sub>アルケニルである。出発物質化合物は、室温で一晩(約12時間)、好適な有機溶媒(例えば、クロロホルム、テトラヒドロフラン、またはジクロロメタン)中で、モル比約1:1で混合される。